

# 兵庫県下の経済動向

平成29年11月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、緩やかな拡大に転じつつある。  
個人消費は、底堅く推移している。  
また、設備投資は高水準で推移し、住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が6か月連続して前年実績を上回った。

乗用車販売は、前年を上回った。

家電販売は、前年を上回った。

設備投資は、高水準で推移している。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっており、前年を下回った。

公共工事請負金額は、独立行政法人等、国で著増、その他の団体で大幅増となるも、神戸市、神戸市を除く市町、兵庫県で大幅減となった。

貿易は、中国、米国、アジア、EU向けの輸出が増加したため9か月連続して前年を上回った。輸入は、EU、アジア、中国向けが増加したため8か月連続して前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、前年を上回った。

雇用関係では、新規求人数は前年を上回り、有効求人倍率は前月を下回った。

また、所定外労働時間および一人当たり名目賃金は前年を上回ったが、常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を上回った。

### 兵庫C I 及び兵庫D I から見た県内の景気動向

8月の兵庫C Iは、先行指数101.3、一致指数112.1、遅行指数103.4となった。

8月の兵庫D Iは、先行指数42.9%、一致指数50.0%、遅行指数75.0%となった。

兵庫C Iは、先行指数は4か月ぶりに前月差増、一致指数は3か月ぶりに前月差増、遅行指数は2か月連続で前月差増となった。

一方、兵庫D Iは、先行指数が2か月連続で50%を下回った。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、悪化を示している。」としている。

<p>*兵庫D I と兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。</p>
--

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

9月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は94.6、前月比11.2%減で2か月ぶりに減少、出荷指数は95.1、同10.7%減で2か月ぶりに減少、在庫指数は114.2、同0.2%増で2か月ぶりに増加した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比4.5%減で8か月ぶりに減少、出荷は同3.4%減で9か月ぶりに減少、在庫は同1.2%増で3か月連続で増加した。

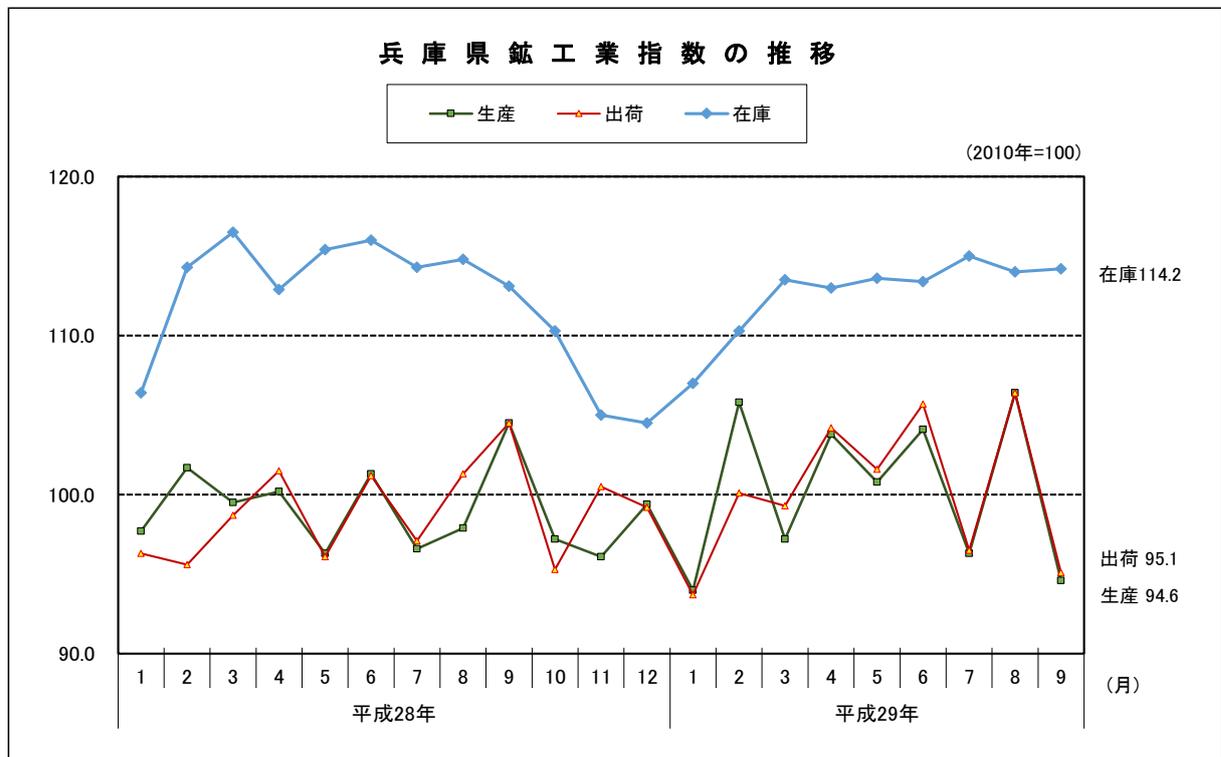
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、「鉄鋼業」(亜鉛めっき鋼板等)が6.2%、「金属製品工業」(ガス温水給湯暖房機等)が4.0%、「食料品工業」(肉製品等)が0.7%各々増加し、「はん用・生産用・業務用機械工業」(はん用内燃機関等)が22.4%、「電気機械工業」(一般用タービン発電機等)が18.5%、「情報通信機械工業」(ノート型パソコン等)が4.6%、「輸送機械工業」(発動機部品等)が20.8%、「窯業・土石製品工業」(セメント等)が13.0%、「化学工業」(医薬品等)が9.5%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「持ち直しの動きがみられる。」とした。

9月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	対前月比	原 指 数	対前年同月
		増減 (%)		比増減 (%)
生 産	94.6	▲ 11.2	103.0	▲ 4.5
出 荷	95.1	▲ 10.7	103.7	▲ 3.4
在 庫	114.2	0.2	114.6	1.2
在 庫 率	109.5	▲ 21.2	115.1	▲ 0.9

資料：兵庫県企画県民部統計課



## 9月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減(%)	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	104.6	6.2	上昇	亜鉛めっき鋼版、鍛鋼品、普通鋼鋼帯、粗鋼
			低下	H形鋼、普通鋼線材、PC鋼線、特殊鋼熱間鋼管
金属製品 工業	87.9	4.0	上昇	ガス温水給湯暖房機、ガス温風暖房機、超硬チップ、ねじり棒ばね
			低下	鋼索、うす板ばね、橋りょう、粉末や金製機械材料
はん用・生産 用・業務用 機械工業	77.8	▲22.4	上昇	圧縮機、プレイバックロボット、送風機、C(W)BN工具
			低下	はん用内燃機関、機械式駐車装置、ショベル系掘削機械、一般用蒸気タービン
電気機械 工業	108.7	▲18.5	上昇	工業用計測制御機器、一般用エンジン発電機、アルカリ蓄電池、計器用変成器
			低下	一般用タービン発電機、リチウムイオン蓄電池、開閉制御装置、電磁クラッチ
情報通信 機械工業	94.5	▲4.6	上昇	テレメータ・テレコントロール、搬送装置、携帯電話、無線位置測定装置
			低下	ノート型パソコン、カーナビゲーション、レーダ装置、入出力装置
輸送機械 工業	126.6	▲20.8	上昇	特殊自動車、機関部品、エンジン
			低下	発動機部品、旅客車、船用ディーゼル機関、特装ボデー
窯業・土石 製品工業	96.2	▲13.0	上昇	プレストレストコンクリート製品、ガラス製容器類、ファインセラミックス(構造材)、道路用コンクリート製品
			低下	セメント、ほうろう鉄器製品、タイル、安全ガラス
化学工業	108.7	▲9.5	上昇	メタクリル酸エステル(モノマー)、アクリル酸エステル、塩化ビニル樹脂、複合肥料(化成肥料)
			低下	医薬品、化粧品、自動車排気ガス浄化用触媒、酢酸(99%換算)
食料品工業	91.8	0.7	上昇	肉製品、配合飼料、ビール類、塩
			低下	清酒、めん類、パン類、チーズ

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

日本百貨店協会がまとめた10月の神戸地区の百貨店売上高は、前年同月比5.1%減の116億42百万円と、2か月連続で前年実績を下回った。

海外高級ブランドのかばんや靴を含む「身のまわり品」が18.2%減。「美術・宝飾・貴金属」も21.1%減だったが、前年同月に大丸神戸店の時計売り場改装で売上高が膨らんだ反動もあり、同協会は「富裕層消費は依然、国内客でも底堅い」としている。

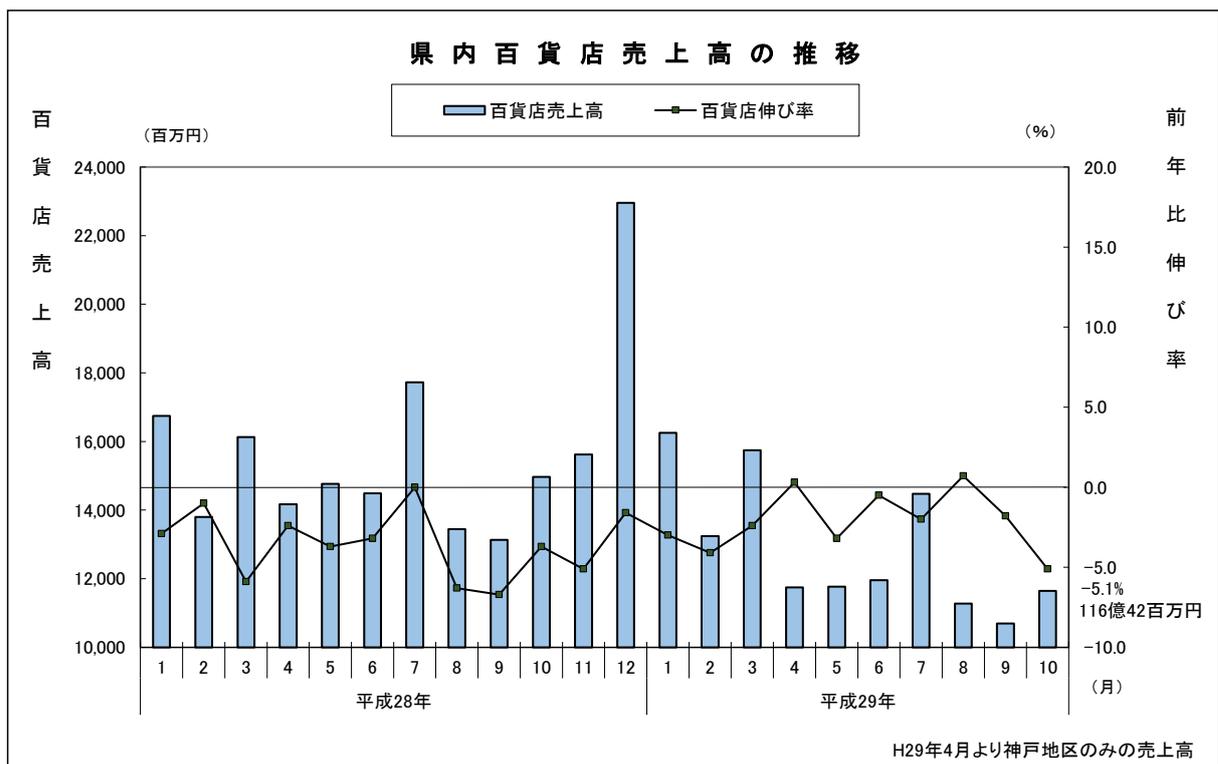
また台風接近による客数の減少で食料品の売り上げも低迷した。

### 10月の神戸地区の百貨店売上高

品 目	売上高	前年同月比
紳士服・洋品	771	▲ 0.8
婦人服・洋品	3,990	▲ 14.3
子供服・洋品	282	▲ 26.6
その他衣料品	192	▲ 13.5
身のまわり品	884	▲ 52.1
雑 貨	1,821	▲ 54.6
家庭用品	375	▲ 22.2
食 料 品	2,968	▲ 38.8
食堂・喫茶	245	▲ 28.9
サ ー ビ ス	57	▲ 42.7
そ の 他	53	▲ 49.8
計	11,642	▲ 30.9

※ 単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

資料：日本百貨店協会



## 【個人消費】『新車登録』

県内10月の乗用車新車登録台数は12,413台、前年同月比3.0%減と2か月ぶりに前年同月の実績を下回った。

10月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,887台(前年同月比5.0%減)、小型乗用車は3,301台(同10.1%減)、軽乗用車は4,225台(同6.0%増)、乗用車合計で12,413台(同3.0%減)となった。

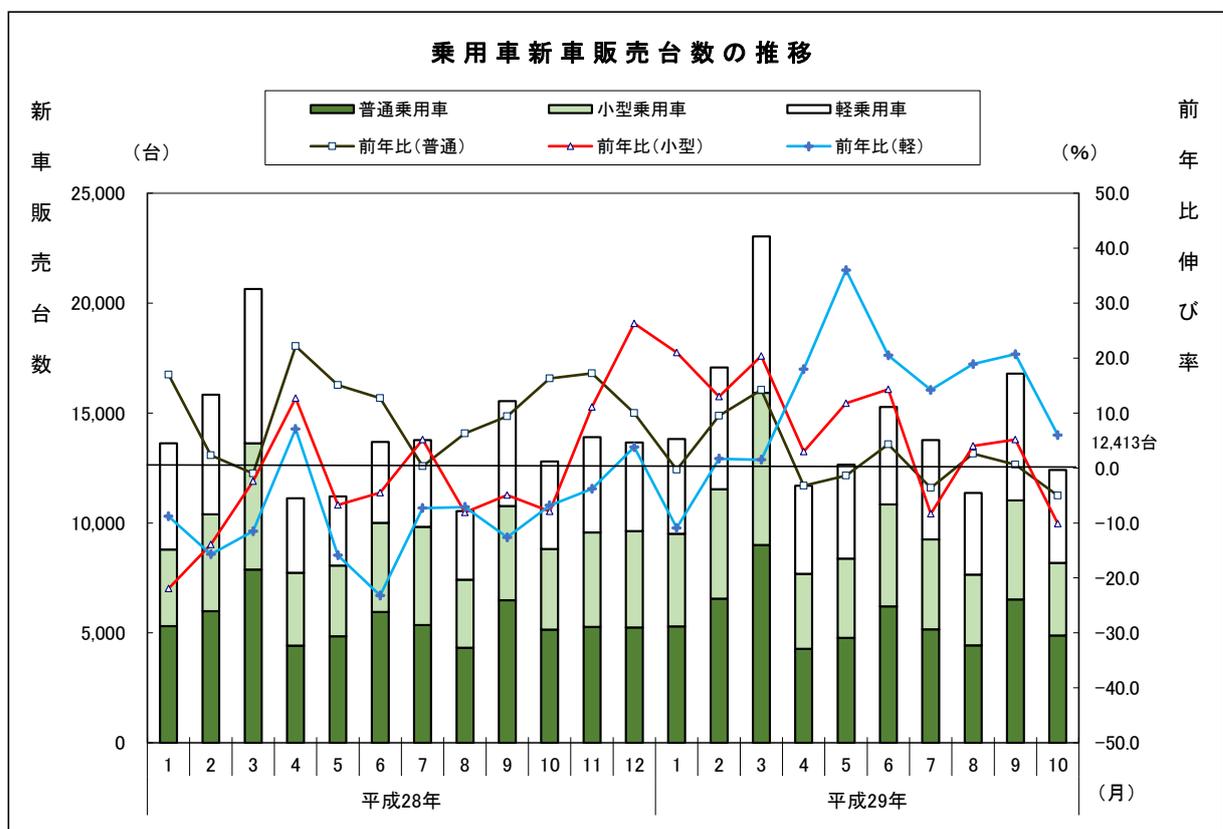
また貨物車等では、普通貨物車は352台(前年同月比20.1%増)、小型貨物車は505台(同15.1%減)、軽貨物車は1,261台(同4.8%増)、バスは11台(同73.8%減)となった。

10月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,887	▲5.0	108,357	▲3.4
小型乗用車	3,301	▲10.1	92,190	▲5.6
軽乗用車	4,225	6.0	110,241	5.1
<b>乗用車合計</b>	<b>12,413</b>	<b>▲3.0</b>	<b>310,788</b>	<b>▲1.2</b>
普通貨物車	352	20.1	12,237	1.9
小型貨物車	505	▲15.1	17,833	▲10.4
軽貨物車	1,261	4.8	30,661	▲1.1
<b>貨物車合計</b>	<b>2,118</b>	<b>1.3</b>	<b>60,731</b>	<b>▲3.5</b>
バス	11	▲73.8	946	▲15.4
<b>登録車総計</b>	<b>14,542</b>	<b>▲2.6</b>	<b>372,465</b>	<b>▲1.7</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が11月9日に発表した機械受注統計によると、平成29年9月実績は以下のとおり。

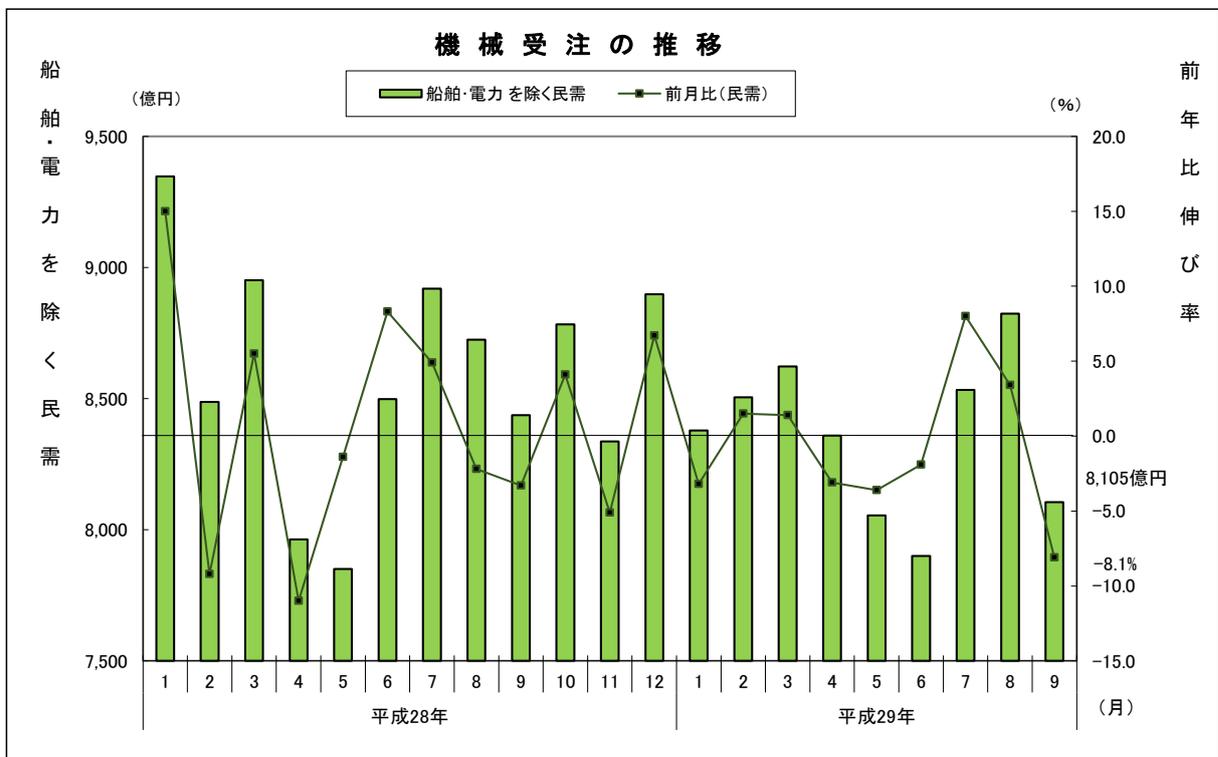
最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成29年8月前月比8.5%増の後、9月は同10.2%減の2兆3,198億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、8月前月比3.4%増の後、9月は同8.1%減の8,105億円となった。

内訳をみると、製造業は同5.1%減の3,921億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同11.1%減の4,329億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、非鉄金属(197.3%増)、石油製品・石炭製品(48.6%増)、その他輸送用機械(43.4%増)、金属製品(29.7%増)、電気機械(5.1%増)、「その他製造業」(1.7%増)等の6業種で、自動車・同付属品(3.7%減)、はん用・生産用機械(11.6%減)、業務用機械(13.5%減)、化学工業(15.6%減)、鉄鋼業(16.1%減)、情報通信機械(21.7%減)、造船業(27.9%減)、繊維工業(31.9%減)、パルプ・紙・紙加工品(42.9%減)、食品製造業(51.4%減)、窯業・土石製品(51.8%減)等の11業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、電力業(62.5%増)、リース業(50.5%増)、不動産業(39.8%増)、通信業(24.1%増)等の4業種で、農林漁業(0.5%減)、建設業(3.9%減)、卸売業・小売業(5.2%減)、運輸業・郵便業(9.5%減)、情報サービス業(13.6%減)、金融業・保険業(20.9%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(27.5%減)、「その他非製造業」(33.5%減)等の8業種は減少となった。



## 機 械 受 注 統 計 (平成 29 年 8 月分)

	2016 年 10～12 月 実績	2017 年 1～3 月 実績	4～6 月 実績	7～9 月 実績	10～12 月 見通し	2017 年 6 月 実績	7 月 実績	8 月 実績	9 月 実績
受注総額	72,530 ( 13.4) [ 0.8]	66,798 ( -7.9) [ -4.7]	67,918 ( 1.7) [ 4.6]	72,859 ( 7.3) [ 13.0]	71,471 ( -1.9) [ 1.3]	22,706 ( 2.1) [ 4.3]	23,822 ( 4.9) [ 10.2]	25,839 ( 8.5) [ 21.5]	23,198 (-10.2) [ 9.1]
民 需	33,701 ( 10.9) [ 7.3]	28,841 (-14.4) [ -12.1]	28,588 ( -0.9) [ -2.7]	30,840 ( 7.9) [ 1.6]	28,167 ( -8.7) [ -11.5]	9,859 ( 4.4) [ -3.0]	9,972 ( 1.1) [ -2.9]	10,589 ( 6.2) [ 3.2]	10,279 ( -2.9) [ 3.6]
〃 (Ex 船・電)	25,859 ( 0.3) [ 3.6]	25,507 ( -1.4) [ -1.0]	24,314 ( -4.7) [ -1.0]	25,462 ( 4.7) [ -2.5]	24,561 ( -3.5) [ -1.8]	7,900 ( -1.9) [ -5.2]	8,533 ( 8.0) [ -7.5]	8,824 ( 3.4) [ 4.4]	8,105 ( -8.1) [ -3.5]
製 造 業	10,800 ( 2.7) [ 3.5]	10,346 ( -4.2) [ -6.8]	10,733 ( 3.7) [ 3.5]	11,607 ( 8.2) [ 9.2]	10,520 ( -9.4) [ -0.1]	3,458 ( -5.4) [ -3.2]	3,557 ( 2.9) [ -1.8]	4,130 ( 16.1) [ 14.7]	3,921 ( -5.1) [ 14.8]
非製造業 (Ex 船・電)	15,202 ( -1.0) [ 3.3]	15,206 ( 0.0) [ 3.1]	13,696 ( -9.9) [ -4.5]	13,921 ( 1.6) [ -10.1]	14,045 ( 0.9) [ -2.6]	4,508 ( 0.8) [ -6.9]	4,723 ( 4.8) [ -12.3]	4,869 ( 3.1) [ -2.8]	4,329 (-11.1) [ -13.3]
官 公 需	8,639 ( 13.5) [ 37.8]	8,475 ( -1.9) [ -11.4]	6,982 (-17.6) [ 1.9]	8,017 ( 14.8) [ 1.0]	7,753 ( -3.3) [ -4.5]	2,771 ( 50.1) [ 15.8]	2,678 ( -3.3) [ -1.6]	3,156 ( 17.8) [ 25.3]	2,182 (-30.9) [ -9.4]
外 需	26,571 ( 15.5) [ -12.9]	25,977 ( -2.2) [ 8.0]	28,470 ( 9.6) [ 12.4]	31,077 ( 9.2) [ 32.6]	32,806 ( 5.6) [ 20.8]	9,124 ( -3.1) [ 8.9]	9,959 ( 9.1) [ 30.1]	11,100 ( 11.5) [ 44.5]	10,017 ( -9.8) [ 25.4]
代 理 店	3,529 ( -0.1) [ 4.8]	3,608 ( 2.2) [ 2.9]	3,759 ( 4.2) [ 13.9]	3,723 ( -1.0) [ 4.7]	3,639 ( -2.3) [ 5.0]	1,275 ( 3.6) [ 11.6]	1,267 ( -0.6) [ 8.2]	1,259 ( -0.6) [ 9.2]	1,198 ( -4.9) [ -2.2]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内9月の新設住宅着工総数は2,696戸(前年同月比16.7%減)となり前年を下回り、前月比では321戸の減少となった。

また、利用関係別では「持家」が857戸(前年同月比3.7%減)、「貸家」が1,236戸(同11.4%増)、「分譲住宅」が595戸(同51.8%減)となった。

9月の新設住宅着工戸数 (速報、単位：戸、%)

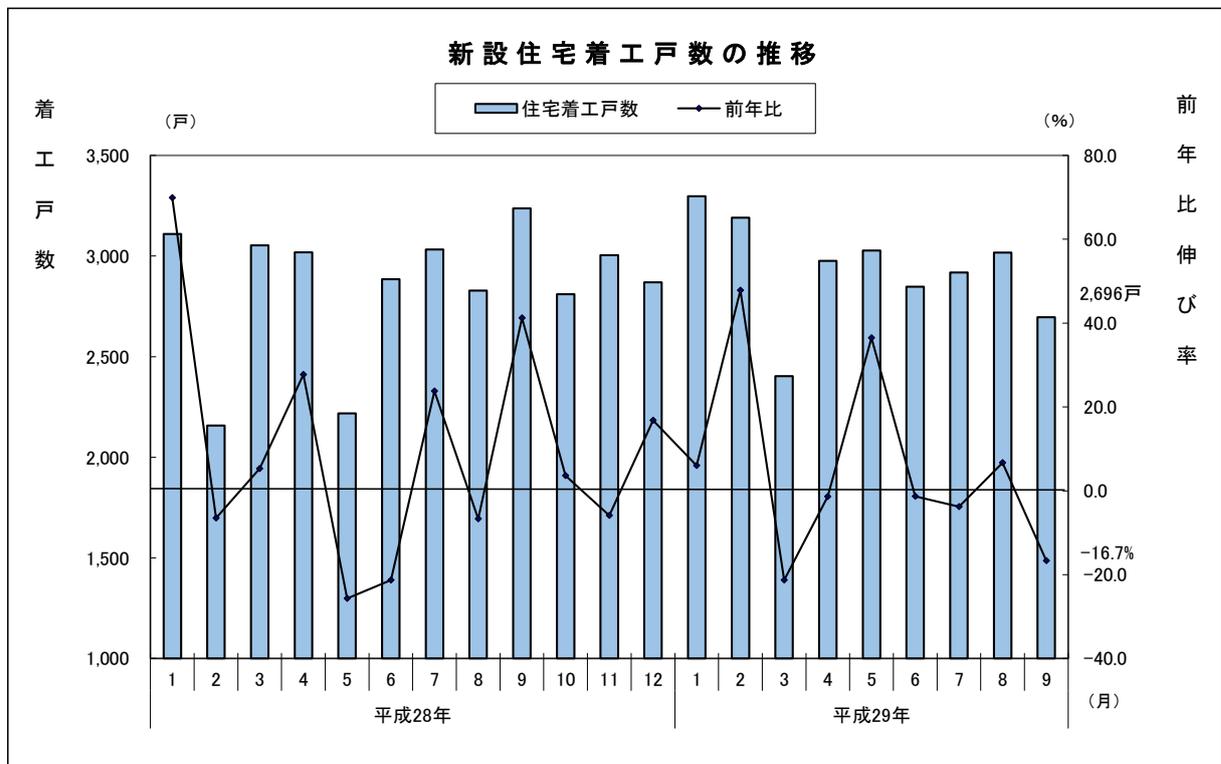
	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	857	▲ 3.7	24,883	▲ 2.7
・分譲住宅	595	▲ 51.8	20,202	▲ 5.3
貸家系・貸家	1,236	11.4	37,521	▲ 2.3
・給与住宅	8	166.7	522	68.4
<b>総数</b>	<b>2,696</b>	<b>▲ 16.7</b>	<b>83,128</b>	<b>▲ 2.9</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

9月の地域別着工戸数 (単位：戸、%)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	710	658	275	363	150	353	72	39	32	44	2,696
前月比	-28.7	45.3	-32.9	-10.6	15.4	-17.3	0.0	-40.0	3.2	63.0	-10.6

資料：兵庫県住宅政策課



## 【公共工事】

10月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は569件で前年同月比8.2%の増加、請負金額は319億1百万円で前年同月比6.5%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」前年同月比266.5%、「国」同234.9%、「その他の団体」同27.0%の増加となったが、「兵庫県」同22.9%、「神戸市を除く市町」同26.8%、「神戸市」同42.2%の減少となったため、前年同月比6.5%の減少となった。

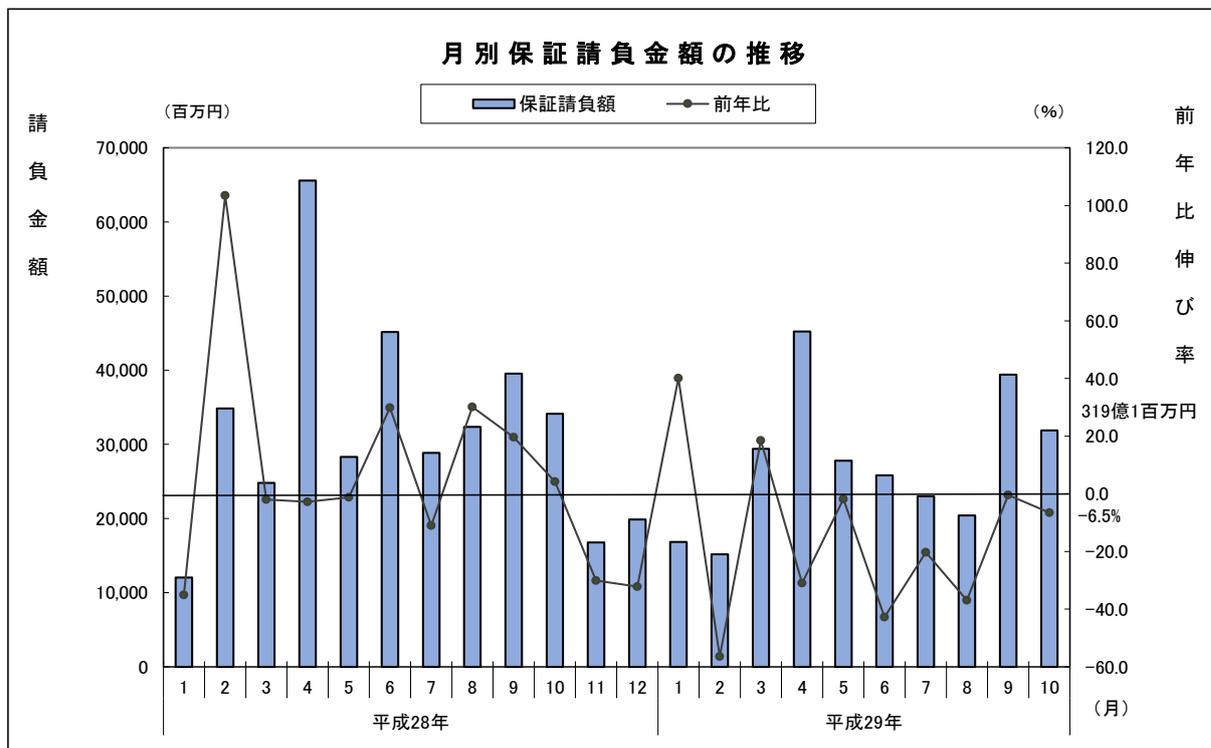
地域別(金額ベース)では、北播磨(前年同月比118.1%増)、丹波(同0.9%減)、阪神南(同25.3%減)、但馬(同6.6%増)、淡路(同42.0%減)が増加したが、神戸市(同28.5%増)、阪神北(同9.5%増)、東播磨(同16.6%減)、中播磨(同43.3%減)、西播磨(同39.2%減)が減少したため、前年同月比6.5%の減少となった。

### 10月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	36( 63.6)	5,964( 234.9)	神戸港ポートアイランド(第2期)地区航路(16m)工事 他3件
独立行政法人等	19( 26.7)	2,074( 266.5)	管理用建物駐車場その他整備工事(29-神・湾岸)
兵庫県	164(▲15.9)	8,237(▲22.9)	県住第4号県営中村住宅建築工事 他3件
神戸市	60( 20.0)	3,111(▲42.2)	
神戸市を除く市町	252( 15.6)	10,139(▲26.8)	大庄支所・地区会館複合施設新築工事 他3件
その他の団体	38( 46.2)	2,375( 27.0)	新長田合同庁舎建設工事 他1件
合計	569( 8.2)	31,901(▲6.5)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成 29 年 10 月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は 7,534 億円、前年同月比 19.4%の増加で、総額ベースで 9 か月連続して増加となった。輸出は音響・映像機器の部分品などが減少したものの、半導体等製造装置、有機化合物などが増加した。一方、輸入は大豆などが減少したものの、たばこ、衣類及び同附属品などが増加した。

輸出は 4,691 億円(前年同月比 14.4%増)と 9 か月連続して増加した。

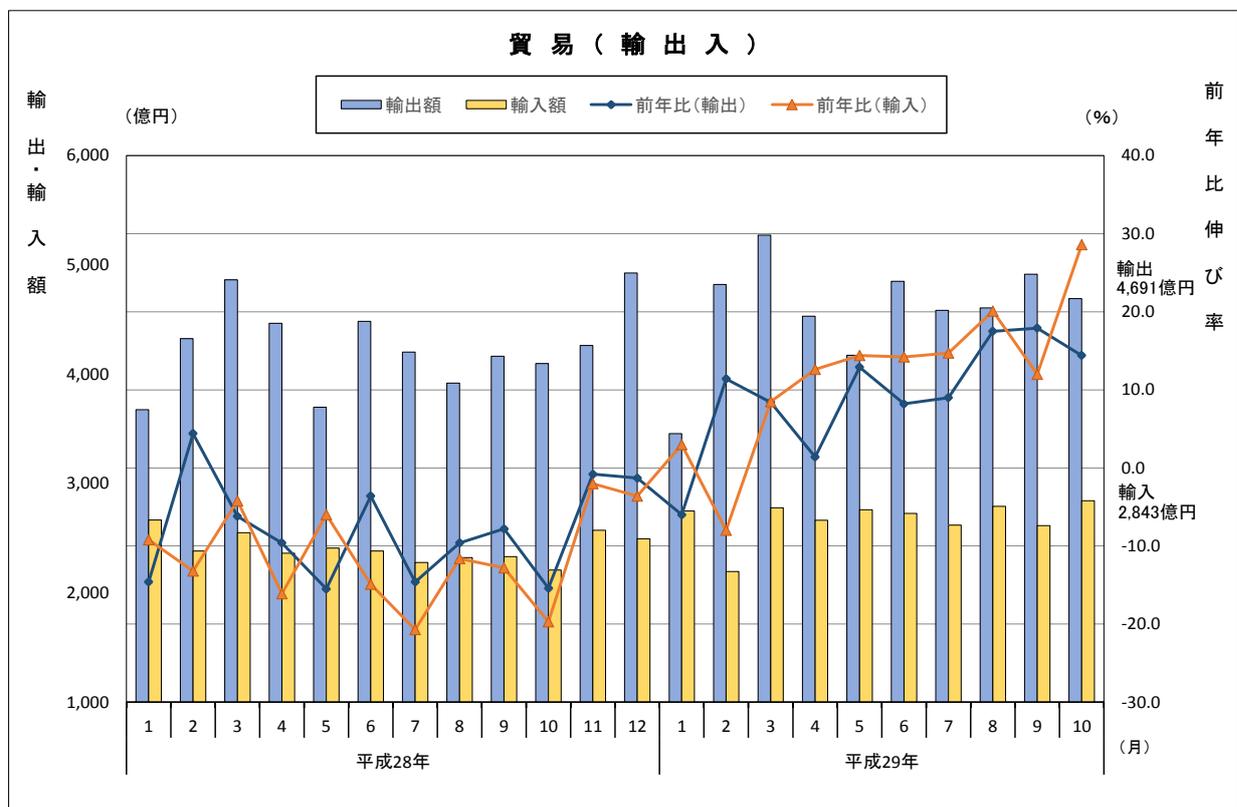
主要品目では、原動機(前年同月比 11.3%減、10 か月ぶりにマイナス)が減少したが、建設用・鉱山用機械(同 14.2%増、10 か月連続プラス)、プラスチック(同 10.5%増、9 か月連続プラス)、織物用糸及び繊維製品(同 3.1%増、3 か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比 37.7%増、11 か月連続プラス)、米国(同 32.7%増、9 か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同 15.3%増、9 か月連続プラス)、EU(同 0.7%増、5 か月連続プラス)が増加した。

輸入は 2,843 億円(前年同月比 28.6%増)と 8 か月連続して増加した。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比 72.0%増、12 か月連続プラス)、衣類及び同附属品(同 47.3%増、8 か月連続プラス)、有機化合物(同 28.9%増、2 か月ぶりにプラス)、たばこ(同 3.2 倍、10 か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比 0.4%減、8 か月ぶりにマイナス)が減少したが、EU(同 67.0%増、9 か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同 22.7%増、8 か月連続プラス)、中国(同 18.3%増、8 か月連続プラス)が増加した。



## 【物 価】『消費者物価』

10月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.5(2015年=100)となり、前月比は0.3%の減少、前年同月比は0.2%の減少となった。生鮮食品を除く総合指数は100.7となり、前月比は0.1%の増加、前年同月比は0.6%の増加となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く指数は101.1となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.2%の増加となった。

前月からの動きを見ると、通信などの増加により「交通・通信」が0.4%、教養娯楽サービスなどの増加により「教養娯楽」が0.3%、ガス代などの増加により「光熱・水道」が0.1%増加した。

しかし、野菜・海藻などの減少により「食料」が0.8%、衣料などの減少により「被服及び履物」が2.3%、医薬品・健康保持用摂取品などの減少により「保健医療」が0.7%減少した結果、総合指数では0.3%の減少となった。

### 10月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	100.5	102.0	100.5	94.8	96.8	102.0	102.0	98.6	102.3	101.0	101.9	100.7	101.1
前月比	▲0.3	▲0.8	0.0	0.1	0.0	▲2.3	▲0.7	0.4	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0
前年同月比	▲0.2	▲0.9	▲0.3	5.1	▲1.7	▲1.7	1.1	0.4	1.0	▲0.8	0.0	0.6	0.2

(注)2015年=100

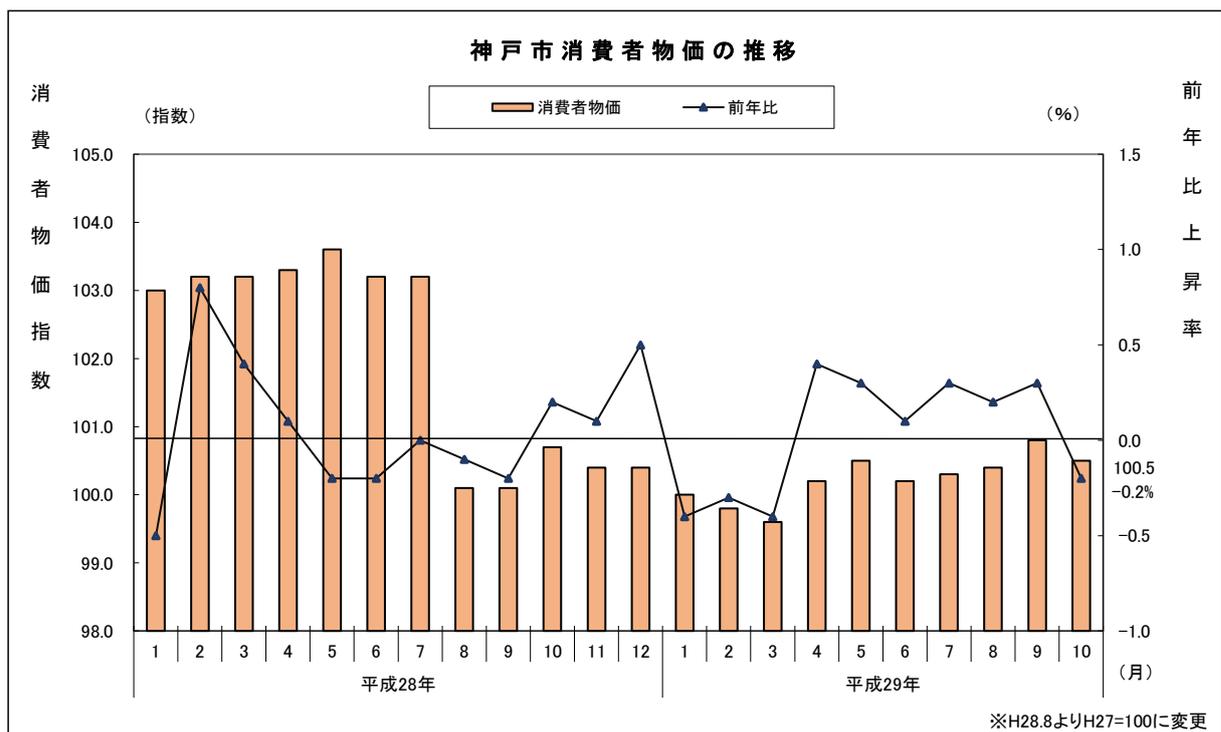
資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

通信 (1.0%)・・・携帯電話機  
 教養娯楽サービス (0.8%)・・・宿泊料

#### ○対前月比値下がりした主な品目

野菜・海藻 (▲7.0%)・・・生鮮野菜(はくさい、きゃべつ)  
 衣料 (▲3.3%)・・・女兒用スカート



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が11月13日に発表した、企業物価指数(速報)による2017年10月の企業物価指数は次のとおり。

10月の企業物価指数 (速報、2015年=100)

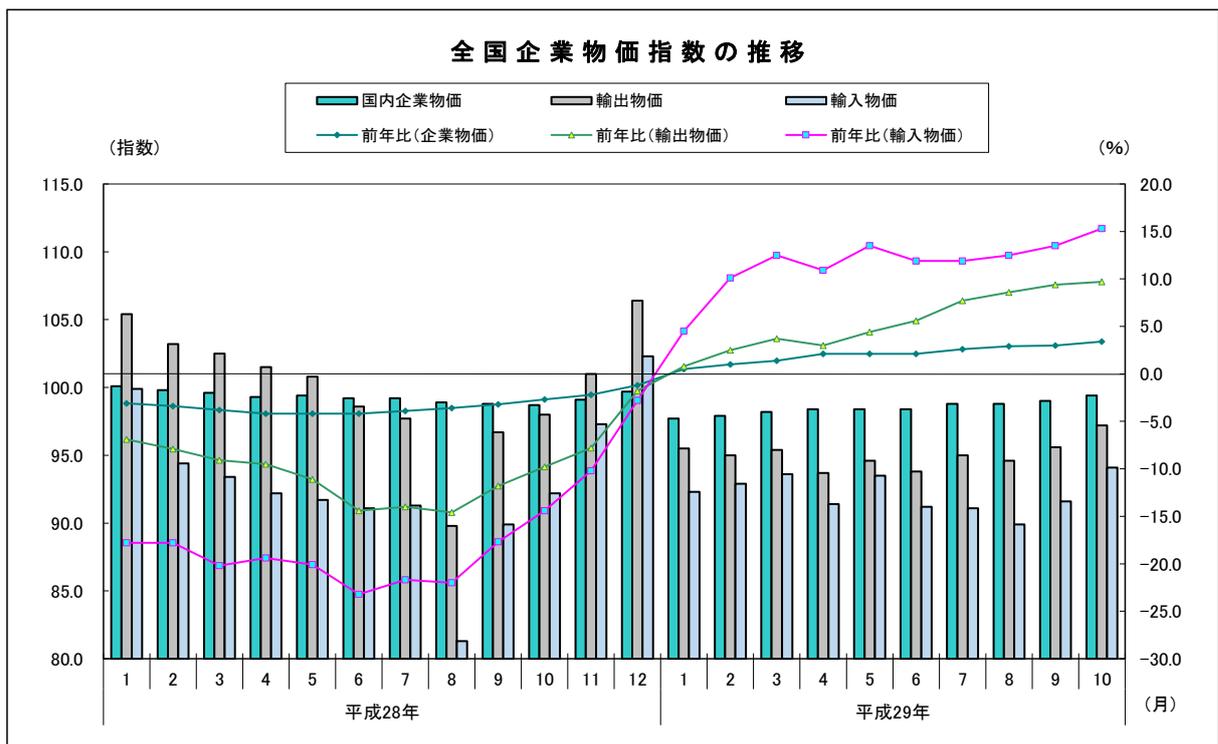
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	99.4	0.3	3.4
輸 出 物 価	97.2	1.7	9.7
輸 入 物 価	94.1	2.6	15.3

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道（前月比3.7%減く産業用高圧電力など）等が減少したが、石油・石炭製品（同5.0%増くガソリンなど）、非鉄金属（同2.3%増く銅地金など）、農林水産物（同1.9%増く玄米など）、化学製品（同0.8%増くエチレンなど）、電子部品・デバイス（同0.5%増くプリント配線板など）、金属製品（同0.4%増く鉄骨など）等が増加し、円ベースでは前月比0.3%の増加（前年同月比3.4%増）となった。

輸出物価は、化学製品（前月比4.7%増くか性ソーダなど）、金属・同製品（同2.5%増く熱延広幅帯銅など）、電気・電子機器（同1.4%増くモス型集積回路(除モス型メモリ集積回路)など）、その他産品・製品（同1.8%増く軽油など）等が増加し、円ベースでは前月比1.7%の増加（前年同月比9.7%増）となった。

輸入物価は、飲食料品・食料用農水産物（前月比1.9%増く小麦など）、繊維品（同0.0%増く男子用ズボン類など）、金属・同製品（同2.9%増くアルミニウム地金など）、石油・石炭・天然ガス（同5.6%増く原油など）、化学製品（同2.4%増くはん用プラスチック(除飽和ポリエステル樹脂)など）、電気・電子機器(同1.4%増くモス型ロジック集積回路など）、輸送用機器（同0.2%増く普通乗用車(ガソリン車)など）、その他産品・製品（同2.0%増く製紙さらしクラフトパルプなど）等が増加し、円ベースでは前月比2.6%の増加(前年同月比15.3%増)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内9月の新規求人数(全数)は、33,288人(前年同月比4.2%増)で、24か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は97,287人(同7.2%増)で89か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比7.1%増で11か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同0.6%増で21か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同6.5%増で7か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比4.0%増)、製造業(同14.9%増)、運輸業、郵便業(同3.7%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同16.2%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同19.4%増)、医療、福祉(同5.2%増)、サービス業(同6.7%増)は増加したが、卸売業、小売業(同7.4%減)、宿泊業、飲食サービス業(同17.1%減)は減少した。

### (2) 求職状況

9月の新規求職申込件数(全数)は17,504件(前年同月比0.5%増)で13か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求職者数(全数)は、74,810人(同5.0%減)で88か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比3.1%減で13か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同7.2%増で7か月連続して前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比15.2%増で3か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比1.4%増で9か月ぶりに前年を上回り、事業主都合離職者は同14.3%減で21か月連続、自己都合離職者は同1.4%減で22か月連続して前年を下回り、自営・他は同17.6%増で3か月ぶりに前年を上回った。無業者は同11.1%減で69か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、18,922人(前年同月比6.8%減)で56か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

9月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.84倍(前月比0.13ポイント減)で前月を下回り、有効求人倍率が1.30倍で前月を0.02ポイント下回った。

### (4) 失業者の状況

9月の全国の完全失業率(季節調整値)は2.8%、完全失業者数(原数値)は190万人(前年同月比14万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は3.2%(前年同月比0.6ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は34万人(前年同月比7万人減)であった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
29年9月	33,288	2,295	4,257	346	1,661	4,059	180	763	812	2,151	1,455	9,474	4,563
前年同月比	4.2	4.0	14.9	42.4	3.7	▲7.4	13.9	21.5	16.2	▲17.1	19.4	5.2	6.7

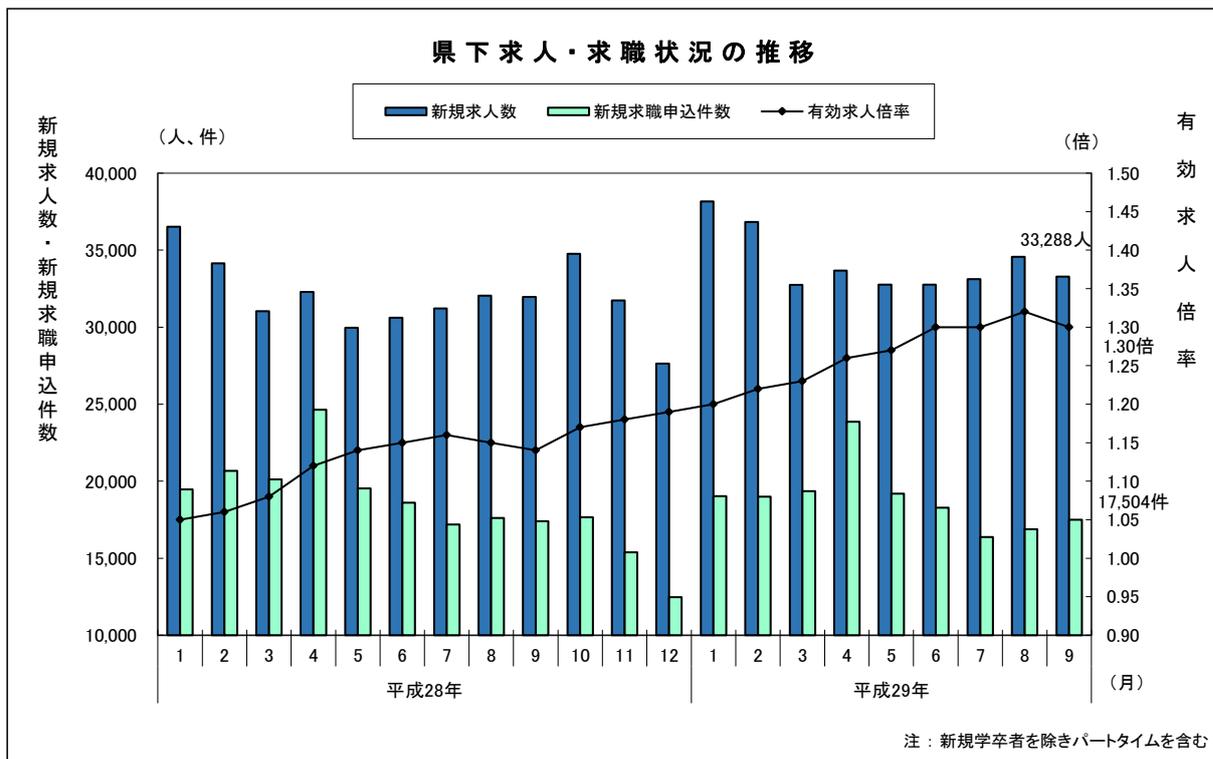
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項目・年月	16/7-9	16/10-12	17/1-3	17/4-6	17/7	17/8	17/9
有効求人倍率 (季調済、倍)	1.15	1.18	1.21	1.27	1.30	1.32	1.30
新規求人数 (原数値、前年比%)	7.5	7.1	5.9	6.8	6.1	7.9	4.2
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	▲9.1	▲5.6	0.2	▲1.4	▲0.1	1.0	1.1
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.9	0.5	0.5	▲0.1	▲0.8	▲1.0	▲1.2
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	0.1	1.5	1.7	1.9	1.0	1.7	2.4

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



## 【信用保証】

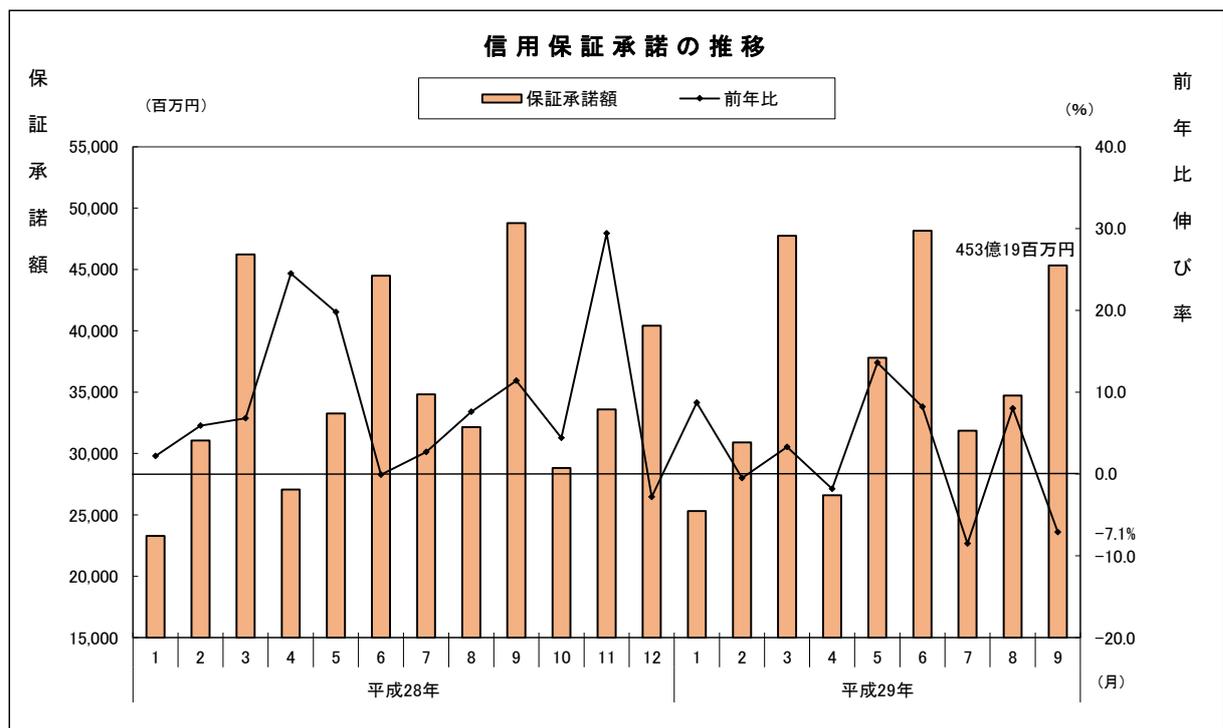
兵庫県信用保証協会による9月の保証承諾実績は、件数で2,647件(前年同月比0.9%増)、金額は453億19百万円(同7.1%減)となり、前年同月実績と比べ、件数で上回り、金額で下回った。

資金使途別では、運転資金42,429百万円(前年同月比7.9%減)、設備資金1,059百万円(同24.8%増)となり、前年同月と比べ、運転資金は下回り、設備資金は上回った。

業種別(金額ベース)では、「小売業」5,882百万円(前年同月比13.1%増)、「運送・倉庫業」2,987百万円(同8.5%増)で前年同月を上回り、「建設業」11,994百万円(同1.6%減)、「製造業」7,800百万円(同2.3%減)、「飲食店」1,276百万円(同8.7%減)、「サービス業」5,854百万円(同9.6%減)、「不動産業」2,417百万円(同16.6%減)、「卸売業」6,606百万円(同26.2%減)等で前年同月を下回った。

9月末の保証債務残高は、92,523件(前年同月比0.4%減)、1兆934億11百万円(同1.6%増)となった。

一方、同月の代位弁済は、148件(前年同月比32.1%増)、14億23百万円(同3.9%減)となった。



## 【金 融】

9月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

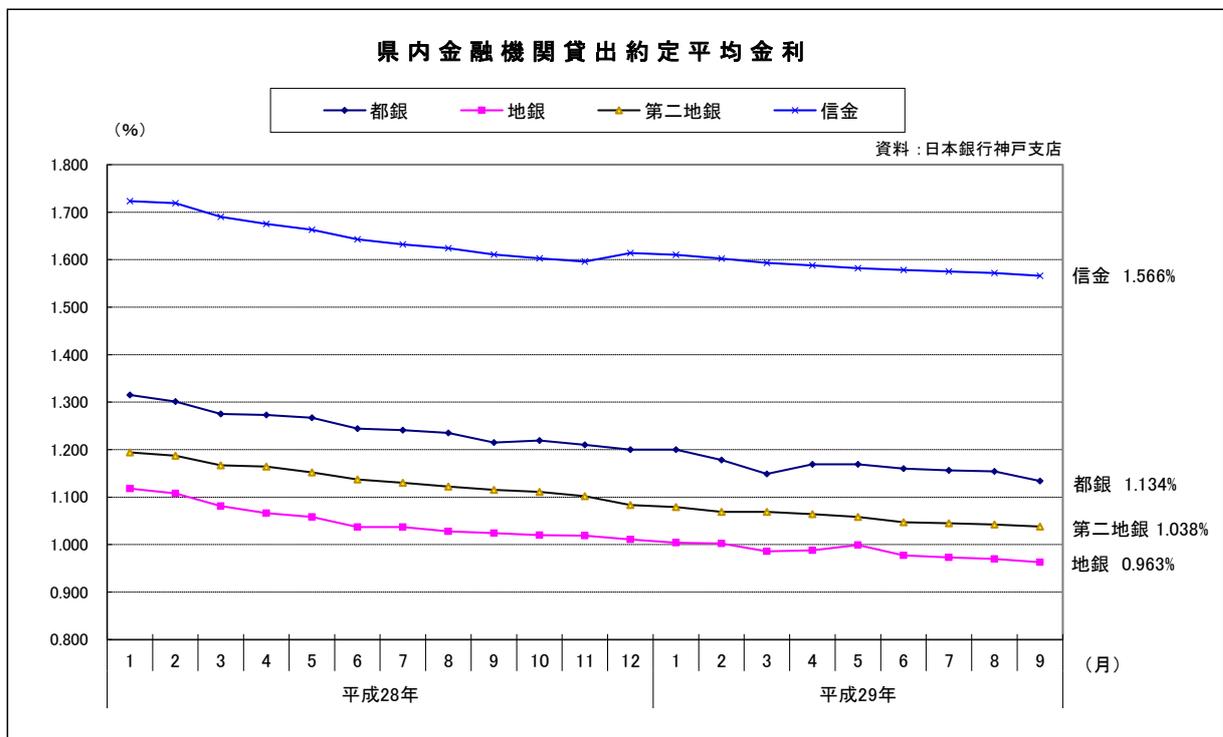
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	164,020	3.9	52,935	0.1
地 方 銀 行	28,290	3.4	27,744	8.2
第 二 地 方 銀 行	34,755	1.9	23,339	2.1
信 用 金 庫	86,497	2.1	40,157	2.1
そ の 他	18,234	1.6	17,507	▲ 0.4
計	<b>331,796</b>	<b>3.0</b>	<b>161,682</b>	<b>2.1</b>

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

9月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比3.0%増)

9月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比2.1%増)

9月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準1.238%、前月比▲0.011%ポイント)。



## 【倒 産】

県内 10 月の企業倒産件数（負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は 32 件で前月比 11 件（25.58%）の減少、前年同月比 7 件（17.94%）の減少となり、負債総額は 17 億 90 百万円で前月比 4 億 48 百万円（20.01%）の減少、前年同月比 5 億 52 百万円（23.56%）の減少となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が 24 件(全体の 75.0%)であった。

業種別(件数)では、「サービス業他」が 11 件（前年同月比 2 件増）であった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金 1,000 万円未満の倒産が 23 件発生し、全体の 71.8%を占めた。

2017 年 10 月の倒産件数は、ここ 4 ヶ月ほど 40 件を挟んで増減を繰り返しており、今年 5 回目となる 30 件台であった。一方、負債総額は、1 億円未満の倒産が 27 件発生(構成比 84.3%)するなど小額倒産が多く、負債総額は 1 月に記録した 13 億 7,200 万円に続いて今年 2 番目に少なかった。

倒産件数、並びに負債総額共に前年同月比、前月比を下回り、また、今年に入ってから 10 ヶ月平均の倒産件数（37.5 件）、負債総額（31 億 1,400 万円）も共に下回った。

今年も 2 ヶ月を残す中において、1 年間を通しての件数比較では現在のペースで進むと平成 28 年に記録した年間 434 件を上回ることが予測される。

### 10 月の原因別・業種別の倒産件数(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	3	3	0	4	▲ 1	建設業	6	8	▲ 2	4	2
過小資本	2	3	▲ 1	1	1	製造業	7	2	5	8	▲ 1
連鎖倒産	2	1	1	1	1	卸売業	2	3	▲ 1	8	▲ 6
赤字累積	0	4	▲ 4	3	▲ 3	小売業	5	5	0	6	▲ 1
販売不振	24	32	▲ 8	29	▲ 5	情報通信業	0	0	0	1	▲ 1
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	11	21	▲ 10	9	2
その他	1	0	1	1	0	不動産・運輸業他	1	4	▲ 3	3	▲ 2
合計	32	43	▲ 11	39	▲ 7	合計	32	43	▲ 11	39	▲ 7

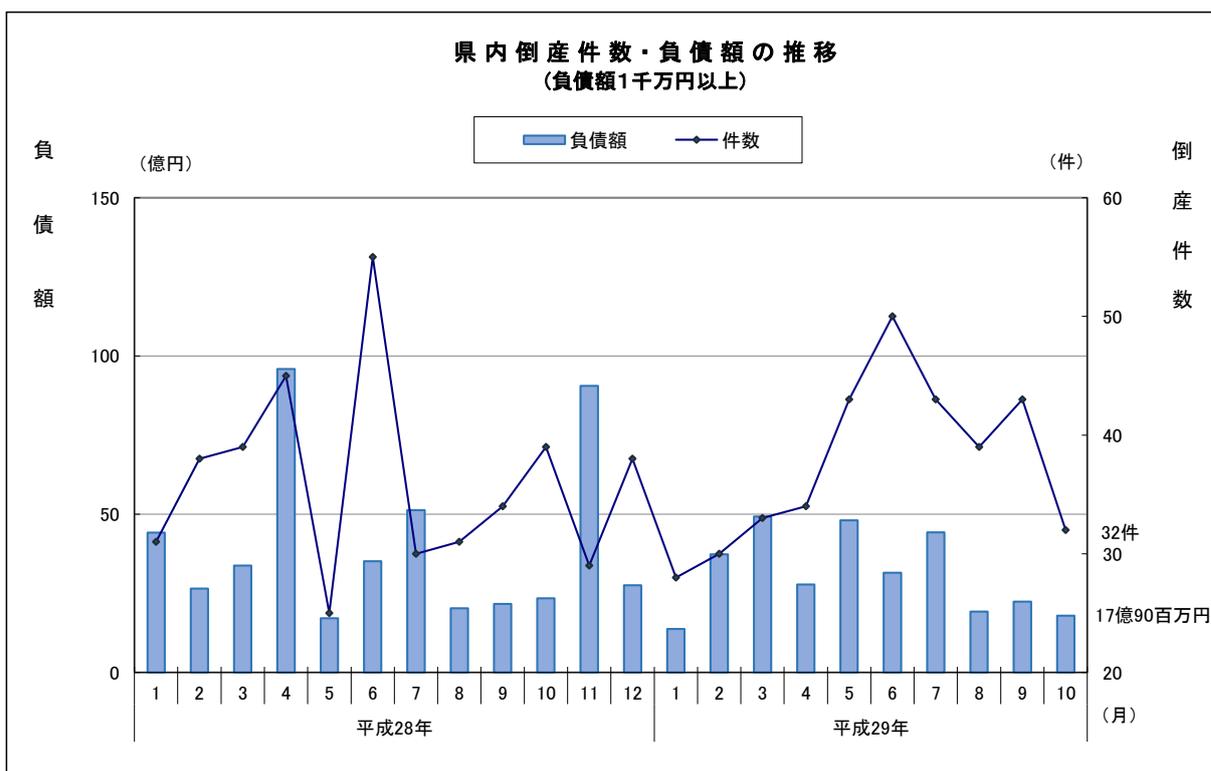
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額 1,000 万円以上）

（単位：件数）

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 平均	44.7	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43.1	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28年 1月	31	11	9	5	5	0	0	1
28年 2月	38	14	11	5	6	0	1	1
28年 3月	39	10	17	6	4	0	1	1
28年 4月	45	17	14	7	6	1	0	0
28年 5月	25	10	8	1	3	2	0	1
28年 6月	55	18	18	8	7	3	1	0
28年 7月	30	13	11	5	1	0	0	0
28年 8月	31	11	12	2	4	1	0	1
28年 9月	34	12	11	3	7	0	1	0
28年 10月	39	17	10	4	8	0	0	0
28年 11月	29	6	11	4	4	1	2	1
28年 12月	38	15	12	4	4	2	0	1
29年 1月	28	8	9	7	4	0	0	0
29年 2月	30	14	9	2	3	1	1	0
29年 3月	33	12	8	4	6	2	0	1
29年 4月	34	14	10	4	3	0	2	1
29年 5月	43	20	14	4	2	2	0	1
29年 6月	50	16	20	4	5	4	1	0
29年 7月	43	17	12	8	5	1	0	0
29年 8月	39	14	8	9	4	2	0	2
29年 9月	43	11	20	8	2	1	0	1
29年 10月	32	7	8	7	7	1	0	2

資料：東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				百貨店売上高			乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)		
	兵庫県 (2010年=100)		全国 (2010年=100)		兵庫県(平成29年3月まで) 神戸市(平成29年4月から)		全国 (既存店)	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	台数 (台)	前年比 (%)	前年比 (%)
27年 10月	95.1	△ 2.0	98.8	1.4	155	2.9	4.2	12,686	△ 1.1	△ 4.0
11月	98.9	4.0	97.9	△ 0.9	164	△ 4.4	△ 2.6	12,871	△ 3.6	△ 7.6
12月	94.3	△ 5.3	96.2	△ 1.7	233	△ 1.3	0.3	12,131	△ 16.7	△ 14.6
28年 1月	97.7	3.6	99.8	3.7	167	△ 2.9	△ 1.5	13,623	△ 4.7	△ 4.4
2月	101.7	3.6	93.2	△ 5.2	138	△ 1.0	0.5	15,837	△ 9.1	△ 7.5
3月	99.5	△ 2.1	96.7	3.8	161	△ 5.9	△ 2.8	20,638	△ 5.2	△ 9.3
4月	100.2	0.5	97.2	0.5	141	△ 2.4	△ 3.6	11,125	9.0	2.2
5月	96.3	△ 4.7	94.7	△ 2.6	147	△ 3.7	△ 4.8	11,207	△ 1.7	△ 1.4
6月	101.3	5.2	96.9	2.3	144	△ 3.2	△ 3.6	13,684	△ 4.4	△ 5.6
7月	96.6	△ 4.6	96.5	△ 0.4	177	0.0	△ 0.2	13,775	△ 0.6	△ 2.2
8月	97.9	2.6	97.8	1.3	134	△ 6.3	△ 3.6	10,542	△ 2.4	2.9
9月	104.5	6.7	98.4	0.6	131	△ 6.7	△ 3.2	15,540	△ 2.2	△ 0.7
10月	97.2	△ 6.9	98.4	0.0	149	△ 3.7	△ 1.0	12,801	0.9	△ 0.2
11月	96.1	△ 0.9	99.9	1.5	156	△ 5.1	△ 0.3	13,901	8.0	8.8
12月	99.4	3.4	100.6	0.7	229	△ 1.6	△ 1.3	13,667	12.7	8.1
29年 1月	94.0	△ 4.9	100.2	△ 0.4	162	△ 3.0	△ 1.1	13,816	1.4	4.4
2月	105.8	12.3	101.7	3.2	132	△ 4.1	△ 2.7	17,070	7.8	8.2
3月	97.2	△ 8.5	99.8	△ 1.9	157	△ 2.4	△ 0.8	23,033	11.6	9.6
4月	103.8	6.8	103.8	4.0	117.4	0.3	1.1	11,695	5.1	10.4
5月	100.8	△ 3.6	100.1	△ 3.6	117.7	△ 3.2	△ 0.6	12,649	12.9	13.4
6月	104.1	2.9	102.3	2.2	119.5	△ 0.5	△ 1.4	15,276	11.6	15.1
7月	96.3	△ 8.5	101.5	△ 0.8	144.7	△ 2.0	△ 0.2	13,775	0.0	2.6
8月	106.4	7.3	103.5	2.0	112.7	0.7	0.6	11,369	7.8	4.1
9月	94.6	△ 11.2	102.5	△ 1.0	106.9	△ 1.8	1.9	16,788	8.0	5.3
10月					116.4	△ 30.9		12,413	△ 3.0	△ 1.2
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		日本百貨店協会		近畿経済産業局	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会		

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	新設住宅着工戸数			公共工事請負金額			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国	輸出		輸入	
	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
27年 10月	2,713	△ 13.7	△ 2.5	327	△ 4.9	△ 5.2	4,843	△ 3.9	2,752	△ 2.7
11月	3,191	△ 2.3	1.7	239	17.2	△ 4.6	4,295	△ 5.7	2,625	△ 0.5
12月	2,458	△ 11.1	△ 1.3	293	21.7	△ 4.9	4,991	△ 8.0	2,586	△ 3.0
28年 1月	3,110	6.9	0.2	120	△ 35.1	△ 4.8	3,677	△ 14.6	2,688	△ 9.2
2月	2,158	△ 30.6	7.8	348	103.5	△ 4.7	4,326	4.4	2,383	△ 13.2
3月	3,053	41.5	8.4	247	△ 2.0	△ 2.1	4,863	△ 6.2	2,551	△ 4.2
4月	3,019	27.7	9.0	655	23.3	10.6	4,466	△ 9.6	2,362	△ 16.1
5月	2,218	△ 25.7	9.8	283	△ 1.2	1.4	3,697	△ 15.5	2,410	△ 6.0
6月	2,885	△ 21.3	△ 2.5	451	29.9	△ 1.8	4,484	△ 3.6	2,382	△ 14.9
7月	3,032	23.8	8.9	288	△ 11.0	△ 6.9	4,203	△ 14.6	2,278	△ 20.7
8月	2,828	△ 20.1	2.5	323	30.1	12.0	3,918	△ 9.6	2,322	△ 11.6
9月	3,237	41.2	10.0	395	19.6	18.1	4,165	△ 7.8	2,332	△ 12.8
10月	2,810	3.6	13.7	341	4.2	△ 10.0	4,098	△ 15.4	2,208	△ 19.7
11月	3,004	△ 5.9	6.7	167	△ 30.1	△ 5.7	4,262	△ 0.8	2,572	△ 2.0
12月	2,870	16.8	3.9	198	△ 32.2	5.3	4,926	△ 1.3	2,495	△ 3.6
29年 1月	3,297	6.0	12.8	168	40.1	7.1	3,457	△ 6.0	2,748	3.0
2月	3,190	47.8	△ 2.6	151	△ 56.4	10.4	4,820	11.4	2,194	△ 8.0
3月	2,403	△ 21.3	0.2	293	18.5	10.9	5,271	8.4	2,777	8.5
4月	2,976	△ 1.4	1.9	452	△ 31.0	1.7	4,531	1.4	2,664	12.6
5月	3,028	36.5	△ 0.3	278	△ 1.8	8.5	4,174	12.9	2,760	14.4
6月	2,848	△ 1.3	1.7	258	△ 42.8	△ 0.6	4,850	8.2	2,726	14.2
7月	2,918	△ 3.8	△ 2.3	230	△ 20.3	△ 5.4	4,585	9.0	2,619	14.7
8月	3,017	6.7	△ 2.0	204	△ 36.9	△ 7.9	4,607	17.5	2,792	20.1
9月	2,696	△ 16.7	△ 2.9	393	△ 0.4	△ 10.4	4,914	17.9	2,615	15.8
10月				319	△ 6.5	3.9	4,691	14.4	2,843	28.6
11月										
12月										
資料	兵庫県住宅地課		国土交通省	西日本建設業保証(株) 兵庫支店			神戸税関			

項目 年月	消費者物価指数 (H28.7より2015年=100)				有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)	
	神戸市		全国		兵庫県 (季調値)	全国 (季調値)	全産業 (千人)	前年比 (%)	指数 (22年=100)	前年比 (%)
	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)						
27年 10月	103.8	0.7	103.9	0.3	1.03	1.24	1,024	0.9	97.6	0.3
11月	103.5	△ 0.3	103.5	0.3	1.05	1.25	1,057	0.8	97.9	0.8
12月	103.4	△ 0.1	103.0	0.0	1.06	1.27	1,057	1.1	97.9	0.7
28年 1月	103.0	△ 0.5	103.2	0.3	1.05	1.28	1,052	1.0	97.2	0.4
2月	103.2	0.8	103.2	0.3	1.06	1.28	1,048	0.8	97.8	1.9
3月	103.2	0.4	103.3	△ 0.1	1.08	1.30	1,042	1.0	99.4	2.6
4月	103.3	0.1	103.4	△ 0.3	1.12	1.34	1,059	0.5	99.4	1.0
5月	103.6	△ 0.2	103.6	△ 0.4	1.14	1.36	1,061	0.5	98.5	2.2
6月	103.2	△ 0.2	103.3	△ 0.4	1.15	1.37	1,063	0.8	98.2	0.6
7月	103.2	0.0	99.6	△ 0.4	1.16	1.37	1,060	0.5	98.9	1.5
8月	100.1	△ 0.1	99.7	△ 0.5	1.15	1.37	1,057	0.5	98.4	1.5
9月	100.1	△ 0.2	99.8	△ 0.5	1.14	1.38	1,055	0.3	98.9	1.2
10月	100.7	0.2	100.4	0.1	1.17	1.40	1,053	0.0	98.6	1.0
11月	100.6	△ 0.1	100.4	0.5	1.18	1.41	1,053	△ 0.4	99.9	2.0
12月	100.4	0.2	100.1	△ 0.2	1.19	1.43	1,051	△ 0.6	99.6	1.7
29年 1月	100.0	△ 0.4	100.0	0.4	1.20	1.43	1,051	0.0	101.3	1.4
2月	99.8	△ 0.3	99.8	0.3	1.22	1.43	1,045	△ 0.2	100.8	0.3
3月	99.6	△ 0.4	99.9	0.2	1.23	1.45	1,041	△ 0.1	102.7	0.6
4月	100.2	0.4	100.3	0.4	1.26	1.48	1,055	△ 0.3	103.8	1.7
5月	100.5	0.3	100.4	0.4	1.27	1.49	1,055	△ 0.5	102.0	0.8
6月	100.2	0.1	100.2	0.4	1.30	1.51	1,054	△ 0.8	102.3	1.4
7月	100.3	0.3	100.1	0.4	1.30	1.52	1,056	△ 0.4	101.6	0.0
8月	100.4	0.2	100.3	0.7	1.32	1.52	1,054	△ 0.3	101.7	0.6
9月	100.8	0.8	100.5	0.7	1.30	1.52	1,050	△ 0.5	102.9	1.3
10月	100.5	△ 0.2								
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		総務省		兵庫県労働局		兵庫県統計課			

項目 年月	国内企業物価指数 (H29.1より2015年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利 全国銀行 (年%)	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末) (億円)	前年比 (%)		倒産 件数 (件)	負債 総額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 (%)			神戸 (件)			阪神 (件)	播磨他 (件)	
27年 10月	101.5	△ 3.8	155,425	1.5	1.125	38	21	15	10	13
11月	101.4	△ 3.6	155,242	1.2	1.121	46	68	22	9	15
12月	101.1	△ 3.4	156,968	1.3	1.110	34	43	13	9	21
28年 1月	100.1	△ 3.1	156,038	1.1	1.108	31	44	11	9	11
2月	99.8	△ 3.4	155,727	0.5	1.098	38	26	14	11	13
3月	99.6	△ 3.8	161,190	1.6	1.076	39	33	10	17	12
4月	99.3	△ 4.2	156,431	0.7	1.066	45	95	17	14	14
5月	99.4	△ 4.2	155,843	0.9	1.054	25	17	10	8	7
6月	99.2	△ 4.2	156,758	1.3	1.039	55	35	18	18	19
7月	99.2	△ 3.9	157,441	1.7	1.033	30	51	13	11	6
8月	98.9	△ 3.6	156,920	1.5	1.026	31	20	11	12	8
9月	98.8	△ 3.2	158,317	1.5	1.016	34	21	12	11	11
10月	98.7	△ 2.7	157,271	1.2	1.014	39	23	17	10	12
11月	99.1	△ 2.2	157,889	1.7	1.009	29	90	6	11	12
12月	99.7	△ 1.2	159,432	1.6	0.998	38	27	15	12	11
29年 1月	97.7	0.5	158,185	1.4	0.996	28	13	8	9	11
2月	97.9	1.0	158,720	1.9	0.992	30	37	14	9	7
3月	98.2	1.4	163,048	1.2	0.982	33	49	12	8	13
4月	98.4	2.1	160,035	2.3	0.982	34	27	14	10	10
5月	98.4	2.1	160,253	2.8	0.976	43	48	20	14	9
6月	98.4	2.1	160,054	2.1	0.969	50	31	16	20	14
7月	98.8	2.6	160,032	1.6	0.965	43	44	17	12	14
8月	98.8	2.9	160,027	2.0	0.962	39	19	14	8	17
9月	99.0	3.0	161,682	2.1	0.955	43	22	11	20	12
10月	99.4	3.4				32	17	7	8	17
11月										
12月										
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

\* p は速報値 r は確報値